

お客様各位

大建工業株式会社

防耐火認定書類（写）の使用に際してのご注意

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度は弊社製品をご採用またはご検討いただき誠に、ありがとうございます。

ご要望の表記資料を使用いただく際に、注意していただきたい事項がございます。下記事項を、ご確認、ご了解の上、ご利用いただくようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 認定書は、防耐火構造上、国土交通大臣に認められた構造仕様の範囲を示すものです。外壁の仕様、断熱材など各資材は、認定書に記載されている仕様を満たすものを選定するようにお願いいたします。（認定範囲外となった場合、防耐火構造の性能上の問題が生じるおそれがあります。）実際の設計、施工においては、認定書と共に弊社および各材料メーカーのカatalog、施工要領書に記載の事項をご確認いただき、それに従ってください。
2. 各防耐火認定ごとに、建物及び下地の構造（軸組/枠組、木製/鋼製 など）、外装仕上がり材の仕様（基材、厚さ、形状等）、工法（通気、直張り、充填断熱、外張り断熱等）、断熱材の仕様、屋内側防火被覆材（内装材）の指定の有無など認定範囲が異なりますので十分ご確認ください。
3. 認定書は、認定書構造をご採用いただいた物件の確認申請、あるいは防耐火構造としての仕様確認のためにご提供するものです。本来の目的以外ではご使用されないよう、お願いいたします。
4. これらの注意点は新築時だけではなく、外壁や断熱の改修時にも配慮が必要となります。ご留意のほどよろしくお願いいたします。

以上

2025/7/2 改訂

認 定 書

国 住 指 第 281 号
令和 3 年 6 月 23 日

大建工業株式会社
代表取締役 社長執行役員 億田 正則 様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号の二及び同法施行令第 107 条の 2 第二号（軒裏：30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QF030RS-0353
2. 認定をした構造方法等の名称
鋼板製換気材・火山性ガラス質堆積物粉体混入ロックウール板張／木製下地
軒裏
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造名

鋼板製換気材・火山性ガラス質堆積物粉体混入ロックウール板張／木製下地軒裏

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
軒の出	100 以上 2000 以下
軒の形状	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)勾配 (2)水平

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
① 被覆材	・仕様：火山性ガラス質堆積物粉体混入ロックウール板 ・種類：(1)～(3)の仕上がりがない材料のうち、いずれか一仕様または併用とする (1)NM-4131 (当該認定の仕上がり種類：①) (2)NM-4132 (当該認定の仕上がり種類：①) (3)NM-4133 (当該認定の仕上がり種類：④) ・厚さ：12 以上 ・表面形状：平滑 ・目地仕様：i)～v)のうち、いずれか一仕様又は併用とする i)面取り突付け ii)突付け iii)合いじゃくり iv)面取り合いじゃくり v)金属ジョイナー ・表面仕上げ：①～⑤のうち、いずれか一仕様または併用とする ①アクリル系樹脂塗装 塗布量：340g/m² 以下 (樹脂量 90g/m² 以下) ②ウレタン系樹脂塗装 塗布量：340g/m² 以下 (樹脂量 90g/m² 以下) ③酢酸ビニル系樹脂塗装 塗布量：340g/m² 以下 (樹脂量 90g/m² 以下) ④塗装付き強化紙 使用量：50g/m² 以下 (有機質量 42.5g/m² 以下) 接着剤：ウレタン系樹脂 使用量：70g/m² 以下 シーラー：アクリル系樹脂 塗布量：210g/m² 以下 (樹脂量 46 g/m² 以下) ⑤なし

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
2 野縁	・材料：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする (1)製材、集成材、単板積層材（日本農林規格） (2)平成12年建設省告示第1452号の第五号に規定する無等級材又は第六号に規定する木材 ・寸法：30×30以上 （被覆材目地部は二本組又は二本組と同寸法以上） ・配置：軒の出方向は壁際に1本以上、軒の出が500を超える場合は500以下の間隔、軒の幅方向は455以下の間隔
3 軒天換気材	[1]本体1 ・材料：(1)～(21)のうち、いずれか一仕様又は併用とする (1)冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯（JIS G 4305） (2)熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯（JIS G 4304） (3)耐海水ステンレス鋼板 化学成分（質量％、Feを除く）：$C \leq 0.020$、$Si \leq 0.80$、$Mn \leq 1.00$、$P \leq 0.030$、$S \leq 0.015$、$Ni \ 17.00 \sim 19.50$、$Cr \ 19.00 \sim 21.00$、$Mo \ 5.50 \sim 6.50$、$N \leq 0.020$、$Nb+Ti \geq 16$（C+N） (4)高耐錆性ステンレス鋼板 化学成分（質量％、Feを除く）：$C \leq 0.010$、$Si \leq 1.00$、$Mn \leq 1.00$、$P \leq 0.040$、$S \leq 0.007$、$Ni \leq 0.60$、$Cr \ 22.00 \sim 23.00$、$Mo \ 1.50 \sim 2.50$、$N \leq 0.020$、$Nb+Ti \geq 16$（C+N） (5)塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（JIS G 3322） (6)塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯（JIS G 3318） (7)塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（JIS G 3312） (8)溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（JIS G 3321） (9)溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯（JIS G 3317） (10)溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（JIS G 3302） (11)ポリ塩化ビニル被覆金属板（アルミニウムおよびアルミニウム合金を除く） (12)建築構造用溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板（国土交通大臣認定指定建築材料：MSTL-0064, 0065, 0069 及び 0070） (13)一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101） (14)熱間圧延軟鋼板及び鋼帯（JIS G 3131） (15)冷間圧延鋼板及び鋼帯（JIS G 3141） (16)電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（JIS G 3313） (17)溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯（JIS G 3314） (18)溶融亜鉛－6%アルミニウム－3%マグネシウム合金めっき鋼板 (19)溶融亜鉛－11%アルミニウム－3%マグネシウム合金めっき鋼板 (18)、(19)の母材の材質：冷間圧延鋼板及び鋼帯（JIS G 3141） (20)溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯（JIS G 3323） (21)(1)から(20)に表面化粧を施したもの ・表面化粧 主成分：①～⑩のうち、いずれか一仕様又は併用とする ①エポキシ・ポリエステル系樹脂 ②エポキシ系樹脂 ③ポリエステル系樹脂 ④アクリル系樹脂 ⑤アクリルウレタン系樹脂 ⑥ポリウレタン系樹脂 ⑦ウレタン系樹脂 ⑧フッ素系樹脂 ⑨アクリルシリコン系樹脂 ⑩無機質系（ポリシロキサン系等） ⑪なし ・化粧量：50g/m以下（有機質量）

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様								
3 軒天換気材 (つづき)	・板厚さ：0.3_(-0.03)以上 ・換気孔の大きさ／1孔あたり：幅 5_(+0.5)以下×奥行 16_(+1.6)以下 〔換気孔面積／1孔あたり：0.8c m²以下〕 - 換気孔総面積：102c m²/m 以下 [2]本体2 ・材料：本体1と同じ ・表面化粧(塗装) - 主成分：本体1と同じ ・化粧量：45g/m 以下 (有機質量) ・板厚さ：0.3_(-0.03)以上 [3]本体固定部材 ・材料：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は併用とする (1)片面テープ (2)両面テープ (1)(2)の粘着材の材質は1)～5)のうち、いずれか一仕様又は併用とする 1)アクリル系 2)エマルション系 3)ゴム系 4)ブチルゴム系 5)シリコーン系 (1)(2)の質量：25.5g/m 以下 (3)なし (カシメ、鋼板非分割) [4]加熱膨張材 ・材料：ブチルゴム系加熱膨張材 耐火テープ 組成(質量%) <table> <tr> <td>ゴムバインダー</td><td>30 (±5)</td></tr> <tr> <td>熱膨張性黒鉛</td><td>30 (±5)</td></tr> <tr> <td>無機充填材</td><td>35 (±5)</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>5 (±5)</td></tr> </table> アルミガラスクロス トータル厚さ：0.13 (±0.05) アルミニウム箔厚さ：0.02 (±0.002) ガラスクロス：86 (±6) g/m² 接着剤：7.5 (±2.5) g/m² ・厚さ：2.15_(-0.15)以上 ・幅：10₍₋₁₎以上 [5]ジョイントカバー ・材料：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする (1)なし (2)本体1と同じ - 表面化粧(塗装) ・主成分：本体1と同じ ・化粧量：95g/m 以下 (有機質量) - 固定部材 ・材料：①、②のうち、いずれか一仕様又は併用とする ①両面テープ - 粘着材の材質は1)～5)のうち、いずれか一仕様又は併用とする	ゴムバインダー	30 (±5)	熱膨張性黒鉛	30 (±5)	無機充填材	35 (±5)	その他	5 (±5)
ゴムバインダー	30 (±5)								
熱膨張性黒鉛	30 (±5)								
無機充填材	35 (±5)								
その他	5 (±5)								

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
③ 軒天換気材 (つづき)	1) アクリル系 2) エマルション系 3) ゴム系 4) ブチルゴム系 5) シリコーン系 質量：30g/m 以下 ②なし
④ 下地材	- 材料：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする (1) 製材、集成材、単板積層材、合板（日本農林規格） (2) 平成 12 年建設省告示第 1452 号の第五号に規定する無等級材又は第六号に規定する木材 - 幅寸法：24 以上
⑤ 吊木	- 材料：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする (1) なし（軒の出が 500 以下又は野縁をたるきに取付ける場合に限る） (2) あり 1)、2)のうち、いずれか一仕様または併用とする 1) 製材、集成材、単板積層材（日本農林規格） 2) 平成 12 年建設省告示第 1452 号の第五号に規定する無等級材又は第六号に規定する木材 - 断面寸法：25×30 以上 - 配置：軒の出方向に 500 以下、軒の幅方向に 1000 以下
⑥ 野縁受 1	- 材料：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様または併用とする (1) なし (2) あり 1)、2)のうち、いずれか一仕様または併用とする 1) 製材、集成材、単板積層材、合板（日本農林規格） 2) 平成 12 年建設省告示第 1452 号の第五号に規定する無等級材又は第六号に規定する木材 - 断面寸法：12×30 以上
⑦ 野縁受 2	- 材料：野縁受 1 と同じ - 断面寸法：30×30 以上

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
①目地部材	被覆材目地仕様が i) ～ iv) の場合 ・材料：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする (1)なし (2)シーリング材 ・材質：1)～4)のうち、いずれか一仕様又は併用とする 1)アクリル系 2)ウレタン系 3)シリコーン系 4)ポリサルファイド系 被覆材目地仕様が v) の場合 ・材料：金属ジョイナー(H型) ・材質：1)、2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする 1)ステンレス鋼製 2)鋼製
②留付材	[1]被覆材用 ・材料：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする ただし、単板積層材、合板の木口に留付ける場合は(2)に限る (1)くぎ (2)ねじ (防錆処理品) ・材質：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする (1)鋼製 (2)ステンレス製 ・寸法：φ2.15 (-0.21) ×長さ 38 以上 ・留付間隔： - 軒の出方向 200 以下 - 軒の幅方向 200 以下 [2]軒天換気材用 1 ・材料：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする ただし、単板積層材、合板の木口に留付ける場合は(2)に限る (1)くぎ (2)ねじ (防錆処理品) ・材質：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする (1)鋼製 (2)ステンレス製 ・寸法：φ1.9 (-0.19) ×長さ 32 以上 ・留付本数：野縁 1 本あたり 1 本以上 [3]軒天換気材用 2 ・材料：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする ただし、単板積層材、合板の木口に留付ける場合は(2)に限る (1)くぎ (2)ねじ (防錆処理品) ・材質：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする (1)鋼製 (2)ステンレス製 ・寸法：φ1.9 (-0.19) ×長さ 32 以上 ・留付本数：軒天換気材の端部に 1 本以上 [4]野縁用 ・材料：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする (1)くぎ

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
②留付材 (つづき)	(2)ねじ (防錆処理品) ・材質：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする (1)鋼製 (2)ステンレス製 ・寸法：$\phi 2.75_{(-0.27)} \times$長さ 50 以上 ・留付本数：軒の出方向は両端部に 1 本以上 [5]下地材用 ・材料：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする (1)くぎ (2)ねじ (防錆処理品) ・材質：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする (1)鋼製 (2)ステンレス製 ・寸法：$\phi 2.75_{(-0.27)} \times$長さ 50 以上 ・留付本数：たるき 1 本あたり 2 本以上 [6]吊木用 ・材料：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする (1)くぎ (2)ねじ (防錆処理品) ・材質：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする (1)鋼製 (2)ステンレス製 ・寸法：$\phi 2.75_{(-0.27)} \times$長さ 50 以上 [7]野縁受 1 用 ・材料：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする (1)くぎ (2)ねじ (防錆処理品) ・材質：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする (1)鋼製 (2)ステンレス製 ・寸法：$\phi 1.9_{(-0.19)} \times$長さ 32 以上 [8]野縁受 2 用 ・材料：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする (1)くぎ (2)ねじ (防錆処理品) ・材質：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする (1)鋼製 (2)ステンレス製 ・寸法：$\phi 2.75_{(-0.27)} \times$長さ 50 以上
③コーキング材	・材料：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする (1)なし (2)あり ・材質：1)～7)のうち、いずれか一仕様又は併用とする 1)アクリル系 2)変成シリコーン系 3)ウレタン系 4)アクリルウレタン系 5)ポリサルファイド系 6)変成ポリサルファイド系 7)シリコーン系

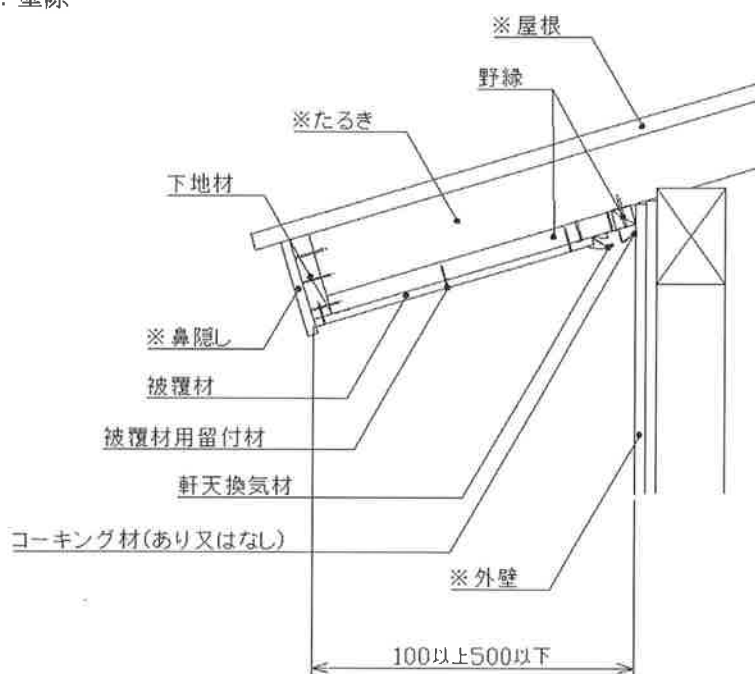
4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

＜断面図＞（勾配軒仕様）

軒の出が 100 以上 500 以下の場合

換気材の位置：壁際



換気材の位置：軒先

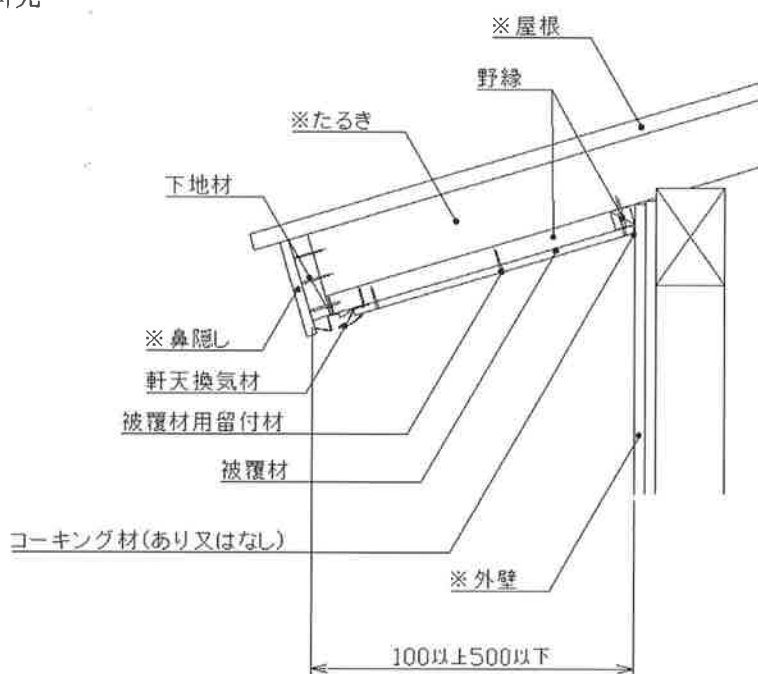


図 1 構造説明図

注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

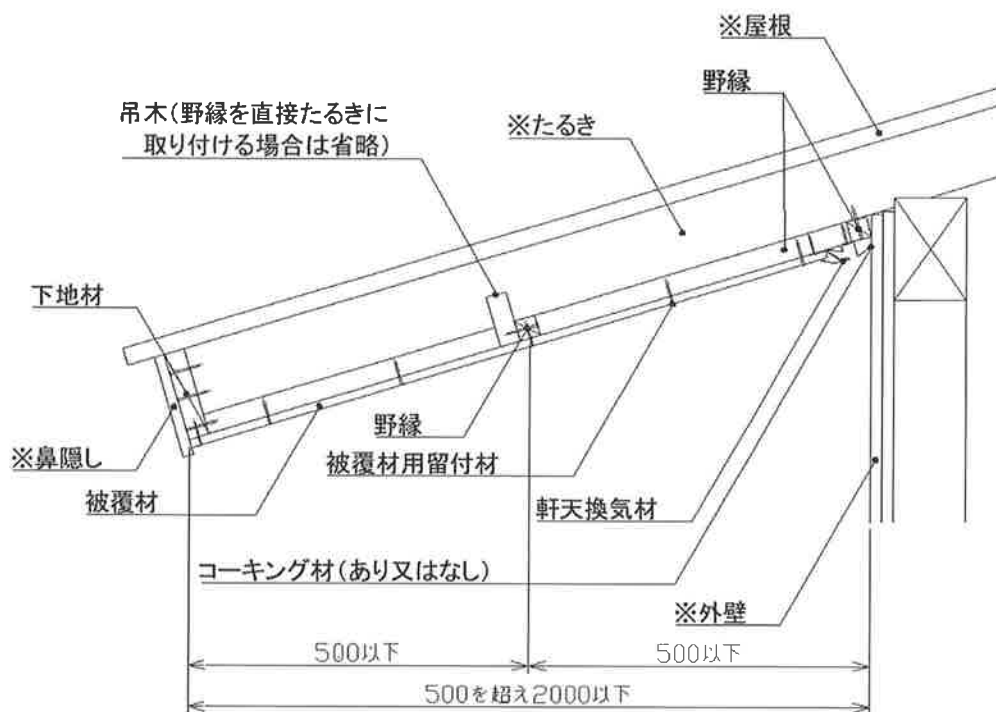
※：本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

＜断面図＞（勾配軒仕様）

軒の出が 500 を超え 2000 以下

換気材の位置：壁際



換気材の位置：軒先

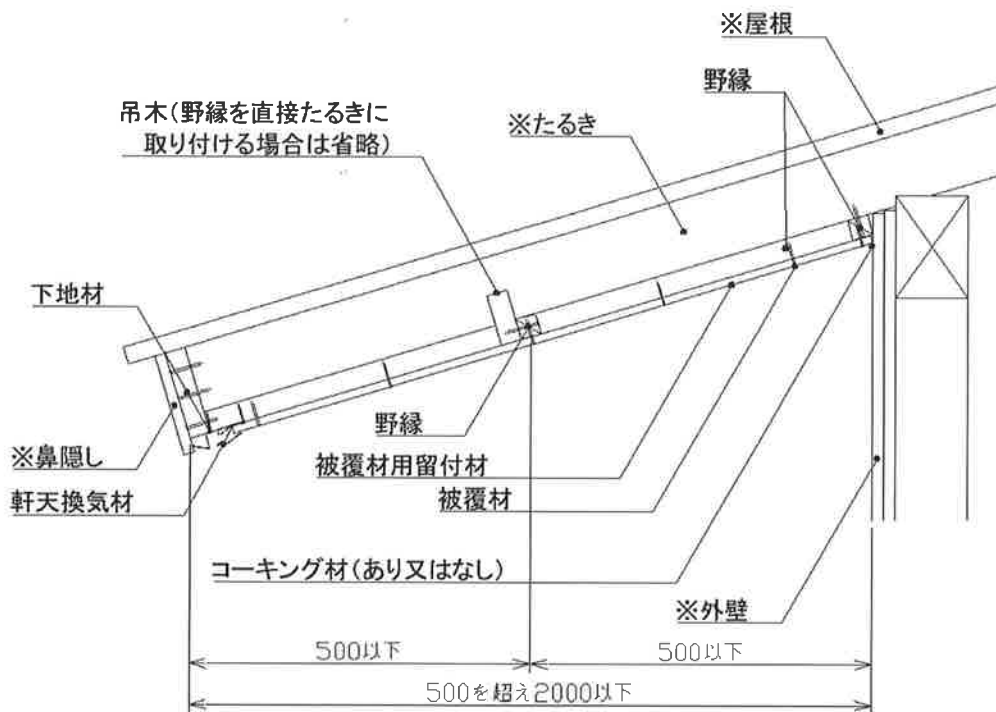


図 2 構造説明図

注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

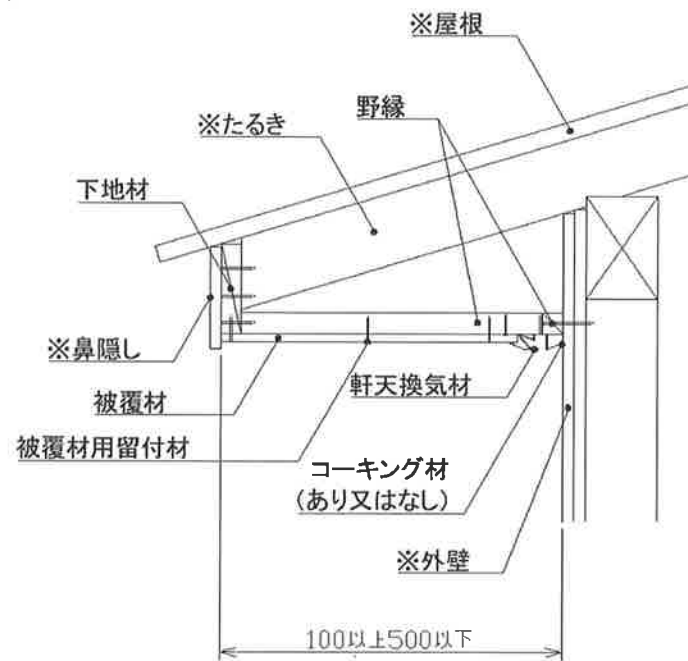
※：本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

<断面図> (水平軒仕様)

軒の出が 100 以上 500 以下の場合

換気材の位置：壁際



換気材の位置：軒先

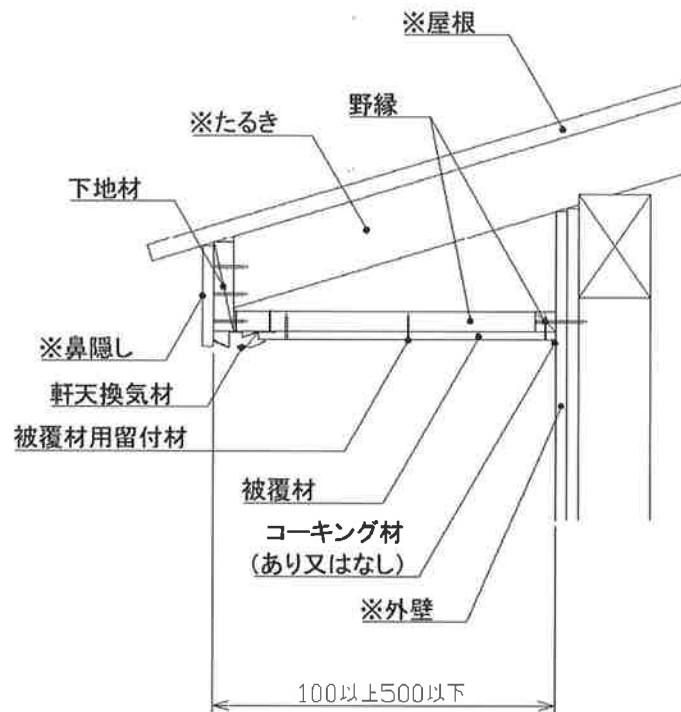


図 3 構造説明図

注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

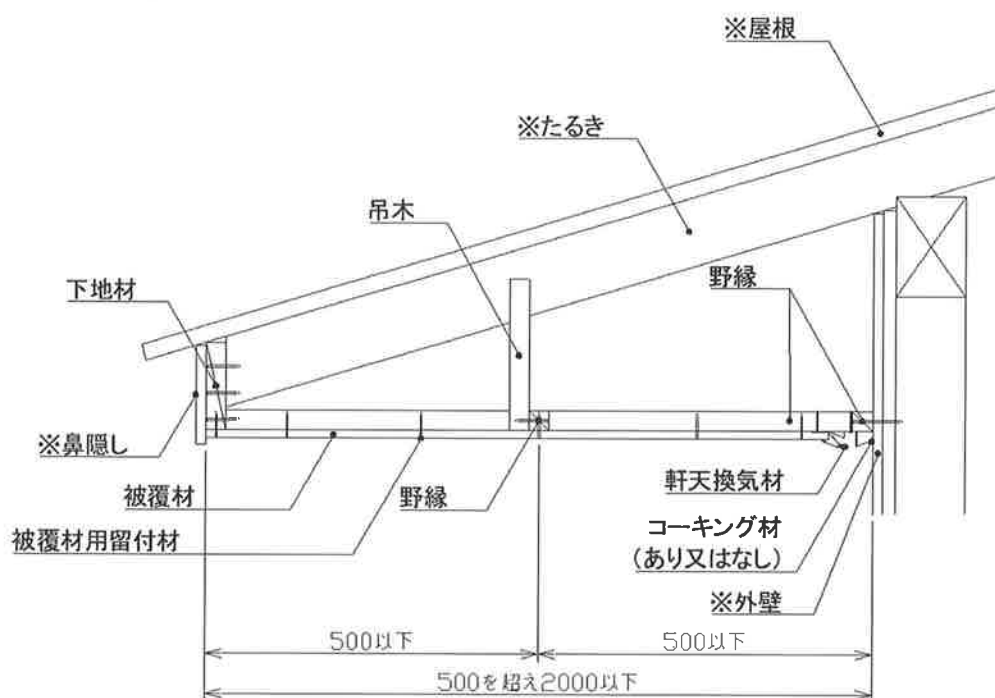
※：本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

<断面図> (水平軒仕様)

軒の出が 500 を超え 2000 以下

換気材の位置：壁際



換気材の位置：軒先

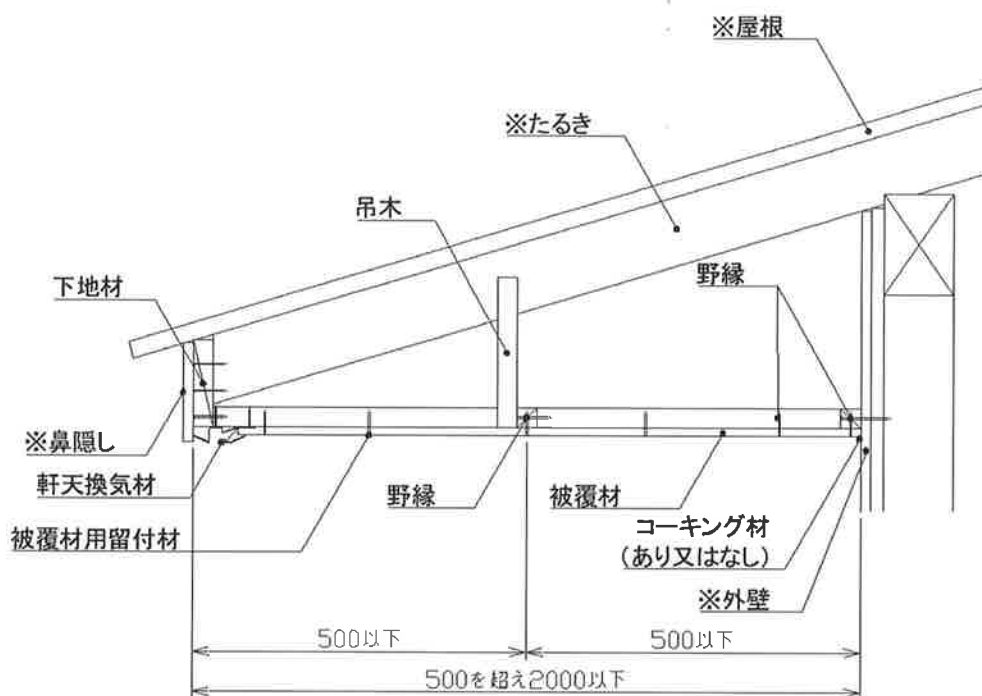


図 4 構造説明図

注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

※：本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

<被覆材用留付材の配置図>

換気材の位置：壁際



換気材の位置：軒先

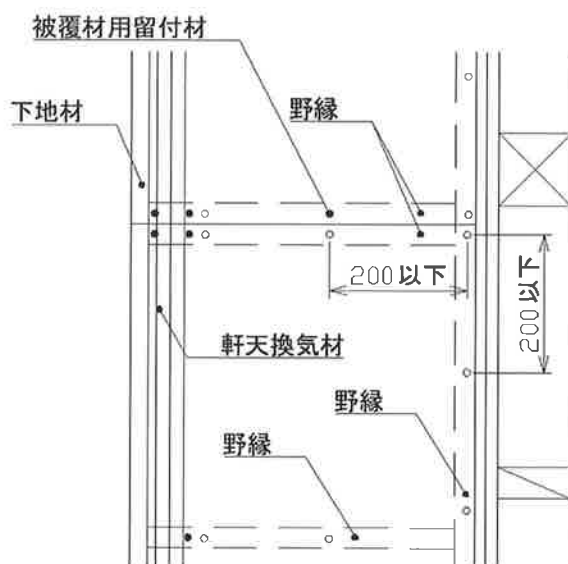


図 5 構造説明図

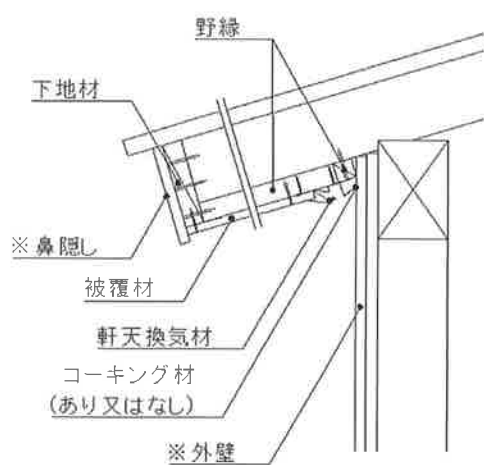
注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

※：本評価内容に含まない

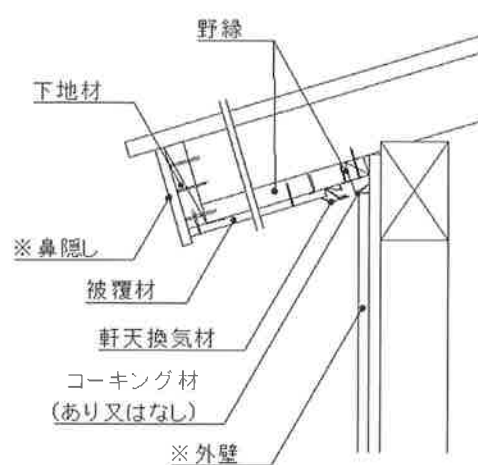
(寸法単位：mm)

<断面図> (勾配軒仕様)

軒天換気材と外壁との取り合い

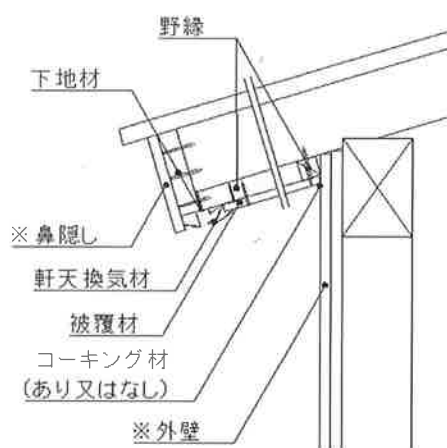


外壁勝ち納まりの場合

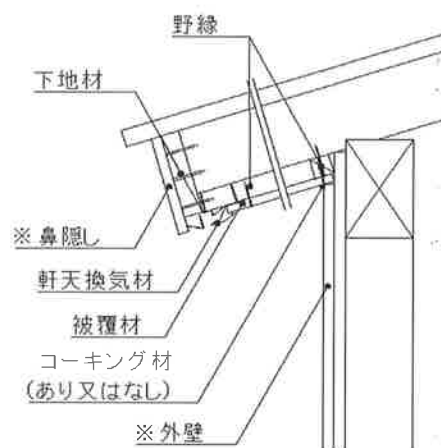


軒天換気材勝ち納まりの場合

被覆材と外壁との取り合い



外壁勝ち納まりの場合



被覆材勝ち納まりの場合

図 6 構造説明図

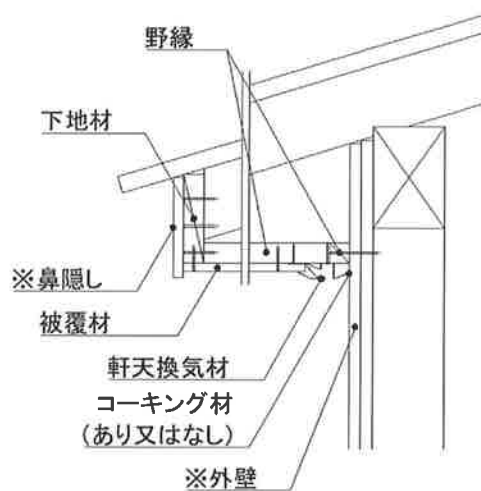
注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

※：本評価内容に含まない

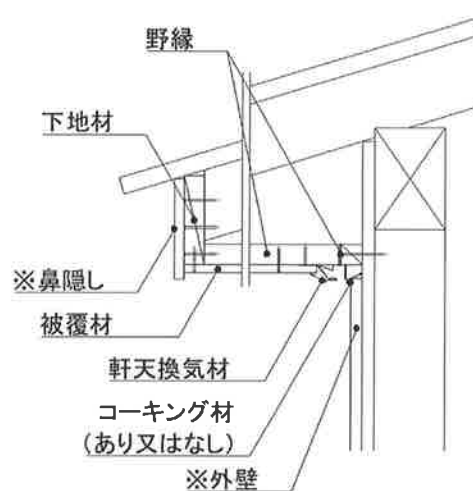
(寸法単位：mm)

<断面図> (水平軒仕様)

軒天換気材と外壁との取り合い

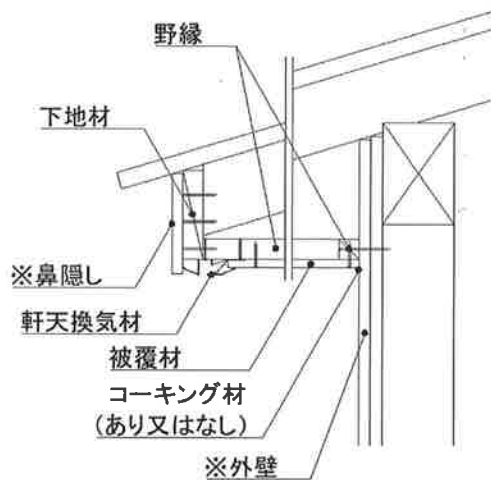


外壁勝ち納まりの場合

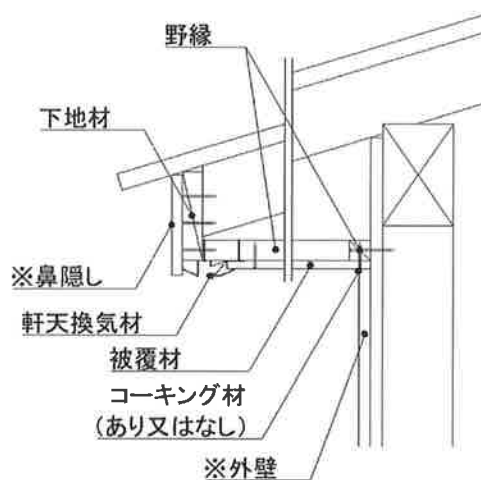


軒天換気材勝ち納まりの場合

被覆材と外壁との取り合い



外壁勝ち納まりの場合



被覆材勝ち納まりの場合

図 7 構造説明図

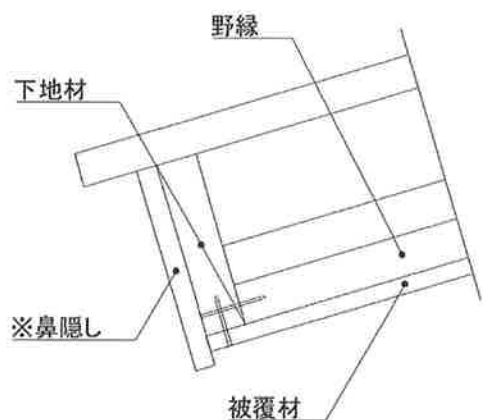
注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

※：本評価内容に含まない

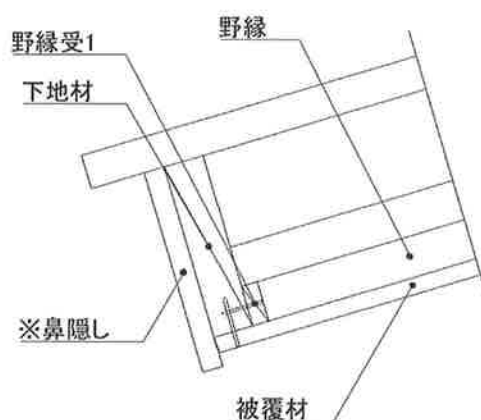
(寸法単位：mm)

<断面図> (勾配軒仕様)

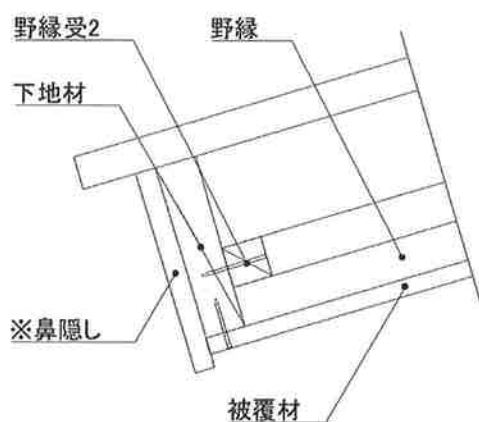
下地材と野縁との取り合い (軒天換気材の位置が壁際の場合)



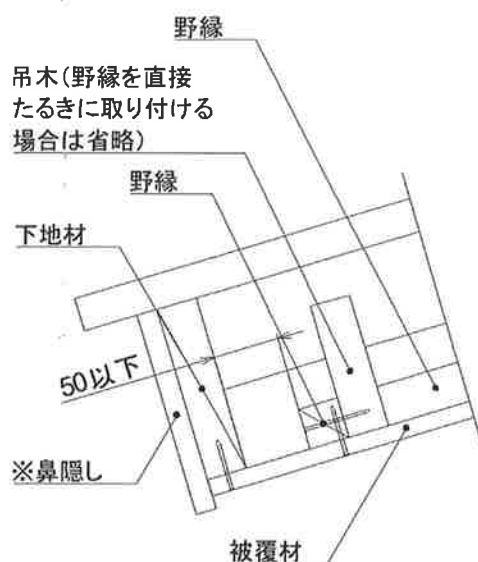
軒の出方向の野縁を
下地材に接合させる場合



軒の出方向の野縁を
野縁受1を介して
下地材に接合させる場合



軒の出方向の野縁を
野縁受2を介して
下地材に接合させる場合



軒の幅方向の野縁を
下地材と離して配置し
吊木又はたるきに接合させる場合

図8 構造説明図

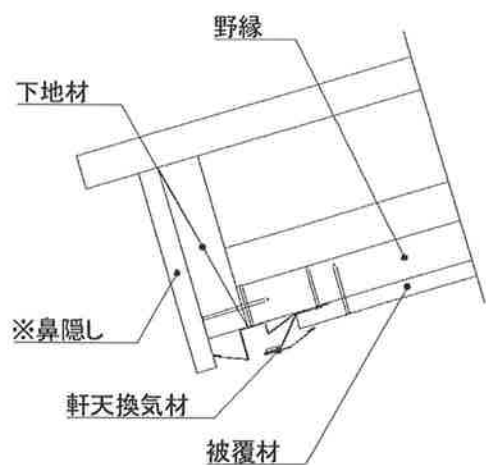
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

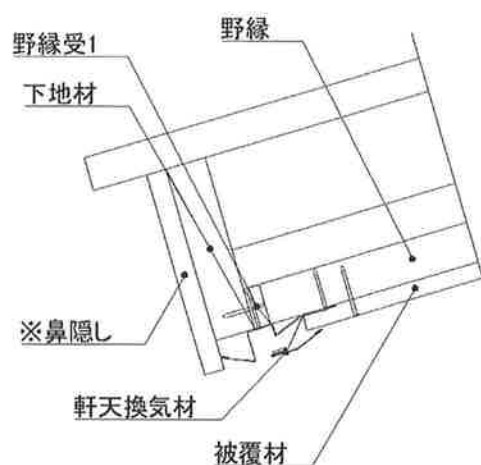
(寸法単位：mm)

＜断面図＞（勾配軒仕様）

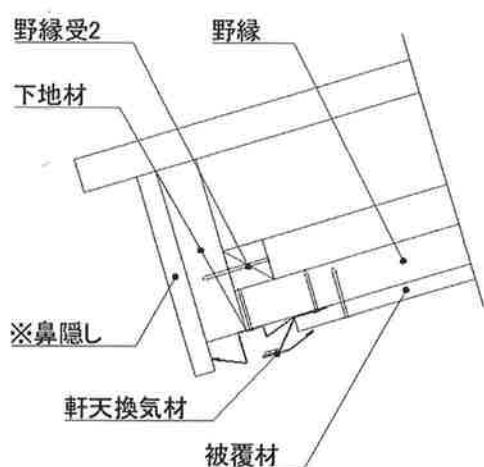
下地材と野縁との取り合い（軒天換気材の位置が軒先の場合）



軒の出方向の野縁を
下地材に接合させる場合



軒の出方向の野縁を
野縁受1を介して
下地材に接合させる場合



軒の出方向の野縁を
野縁受2を介して
下地材に接合させる場合



軒の幅方向の野縁を
下地材と離して配置し
吊木又はたるきに接合させる場合

図9 構造説明図

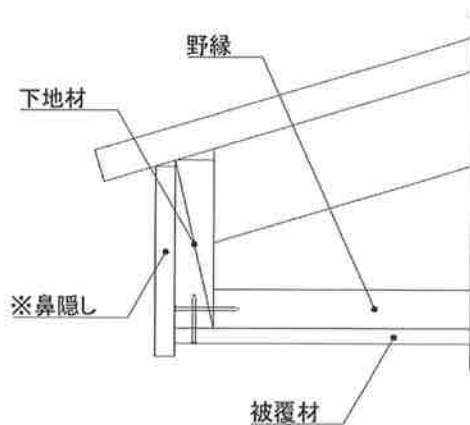
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

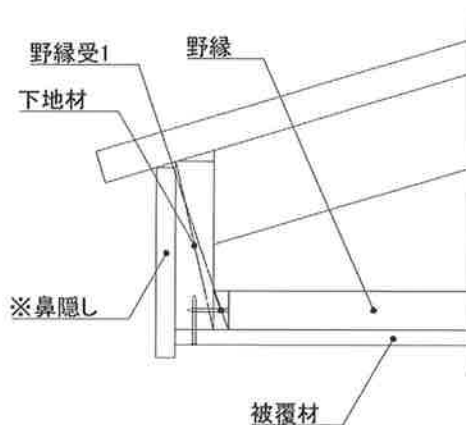
(寸法単位：mm)

＜断面図＞（水平軒仕様）

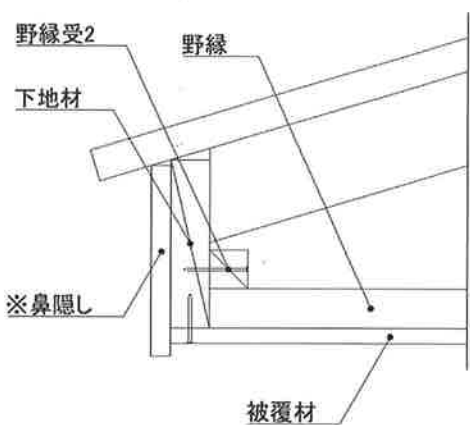
下地材と野縁との取り合い（軒天換気材の位置が壁際の場合）



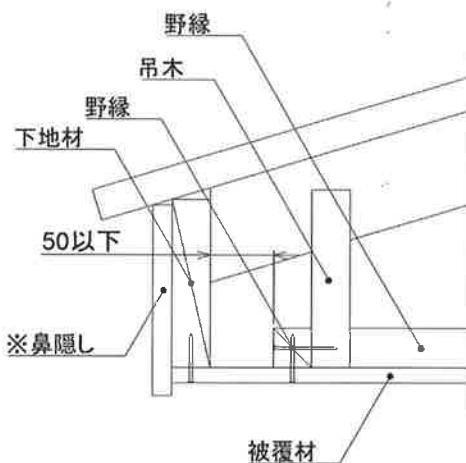
軒の出方向の野縁を
下地材に接合させる場合



軒の出方向の野縁を
野縁受1を介して
下地材に接合させる場合



軒の出方向の野縁を
野縁受2を介して
下地材に接合させる場合



軒の幅方向の野縁を
下地材と離して配置し
吊木に接合させる場合

図 10 構造説明図

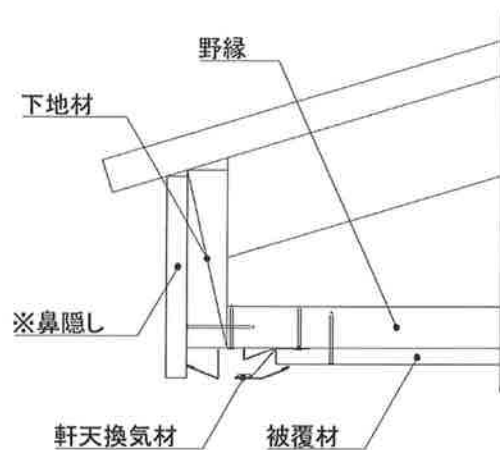
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

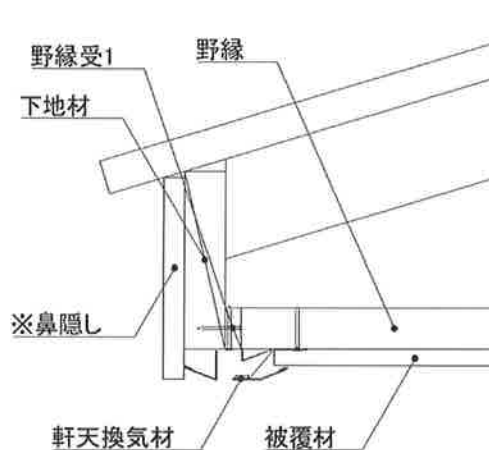
(寸法単位：mm)

<断面図> (水平軒仕様)

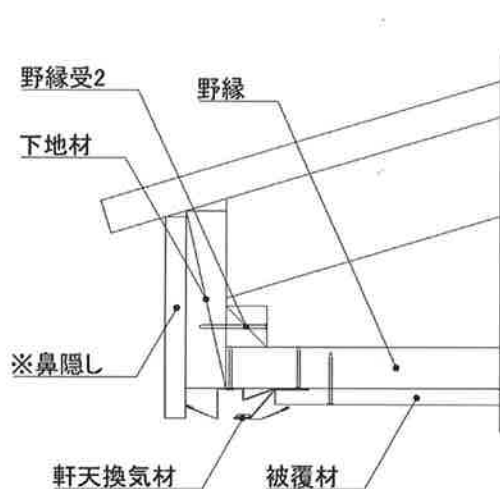
下地材と野縁との取り合い (軒天換気材の位置が軒先の場合)



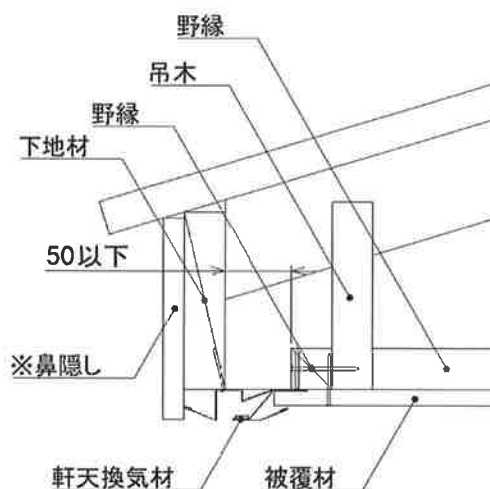
軒の出方向の野縁を
下地材に接合させる場合



軒の出方向の野縁を
野縁受1を介して
下地材に接合させる場合



軒の出方向の野縁を
野縁受2を介して
下地材に接合させる場合



軒の幅方向の野縁を
下地材と離して配置し
吊木に接合させる場合

図 11 構造説明図

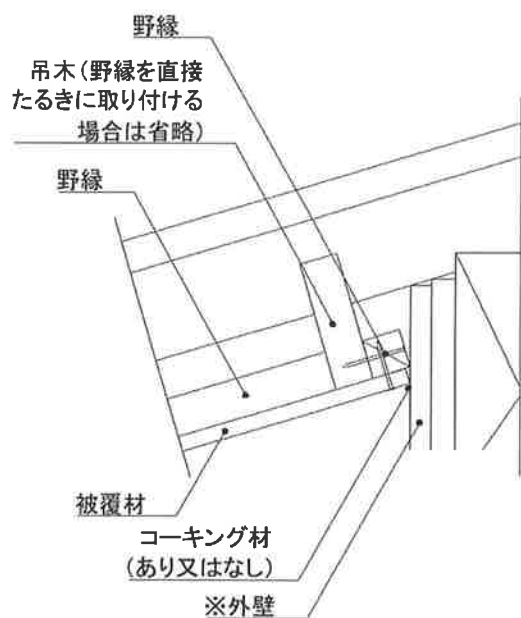
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

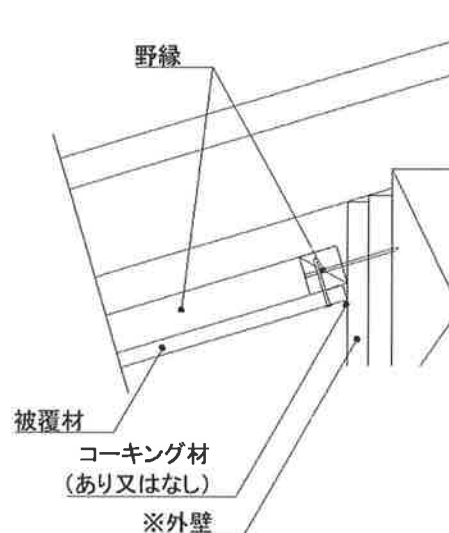
(寸法単位：mm)

<断面図> (勾配軒仕様)

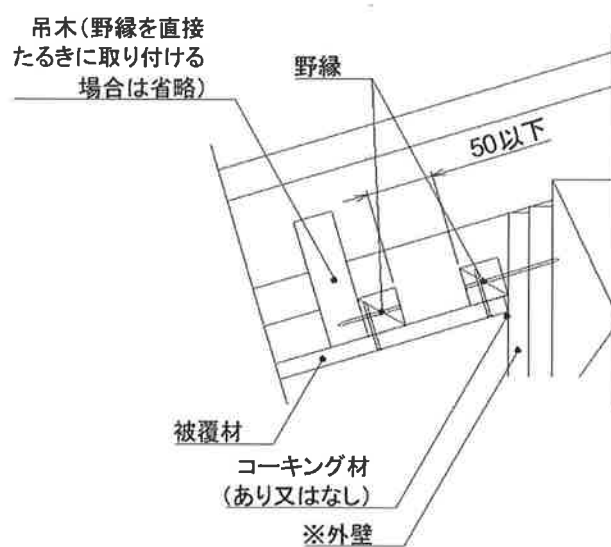
外壁と野縁との取り合い (軒天換気材の位置が軒先の場合)



軒の幅方向の野縁を
吊木又はたるきに接合させる場合



軒の幅方向の野縁を
外壁に接合させる場合



軒の幅方向の野縁を 2 本配置し
吊木又はたるきと外壁に接合させる場合

図 12 構造説明図

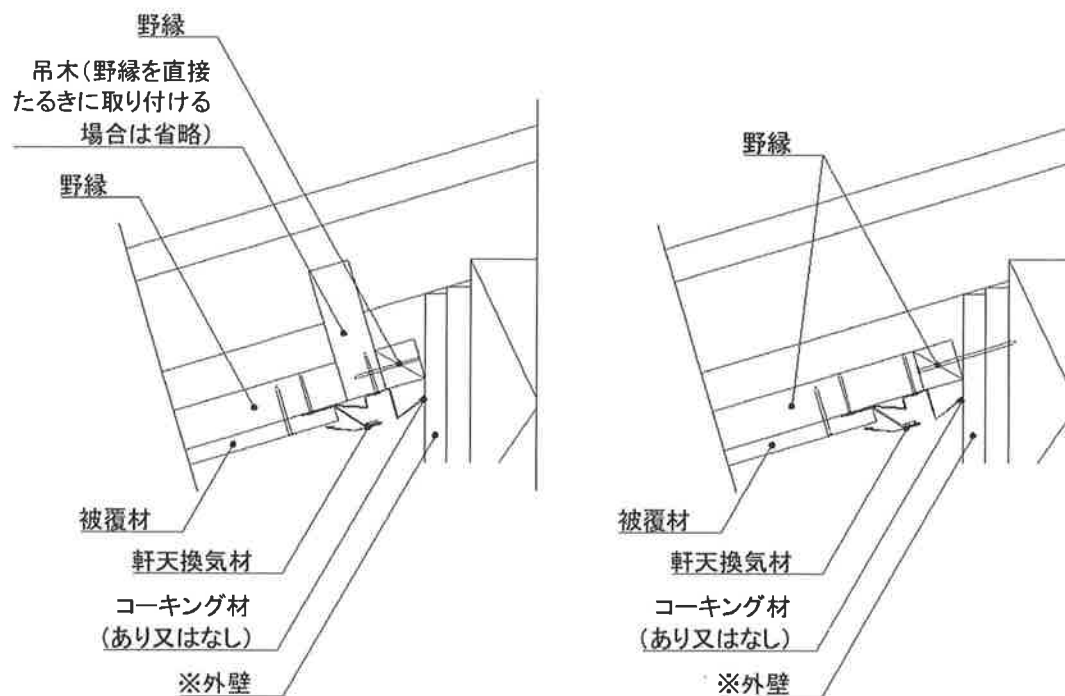
注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

※：本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

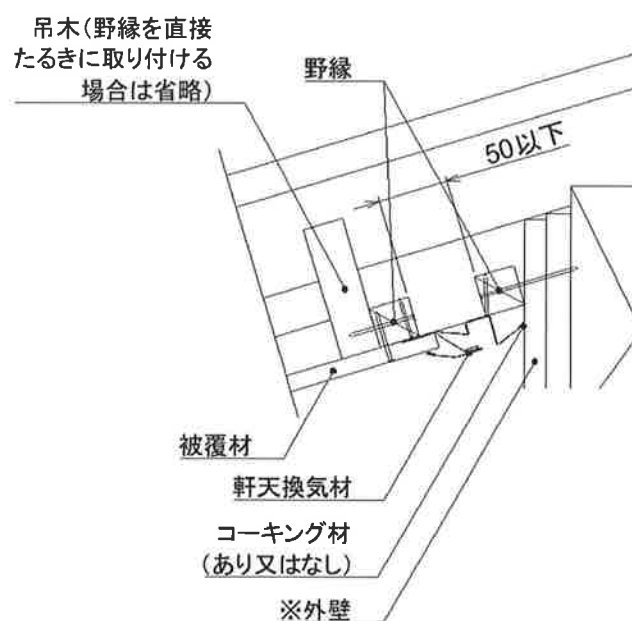
<断面図> (勾配軒仕様)

外壁と野縁との取り合い (軒天換気材の位置が壁際の場合)



軒の幅方向の野縁を
吊木又はたるきに接合させる場合

軒の幅方向の野縁を
外壁に接合させる場合



軒の幅方向の野縁を2本配置し
吊木又はたるきと外壁に接合させる場合

図13 構造説明図

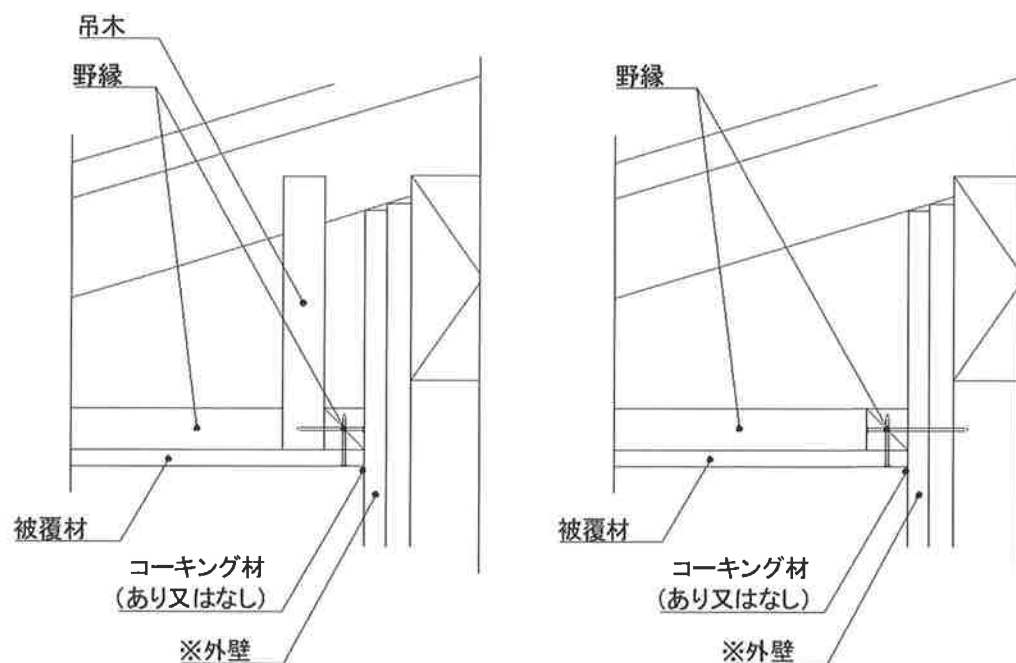
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

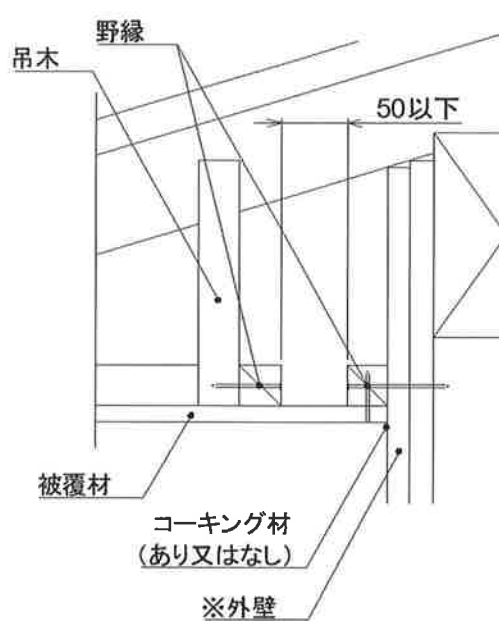
<断面図> (水平軒仕様)

外壁と野縁との取り合い (軒天換気材の位置が軒先の場合)



軒の幅方向の野縁を
吊木に接合させる場合

軒の幅方向の野縁を
外壁に接合させる場合



軒の幅方向の野縁を2本配置し
吊木と外壁に接合させる場合

図 14 構造説明図

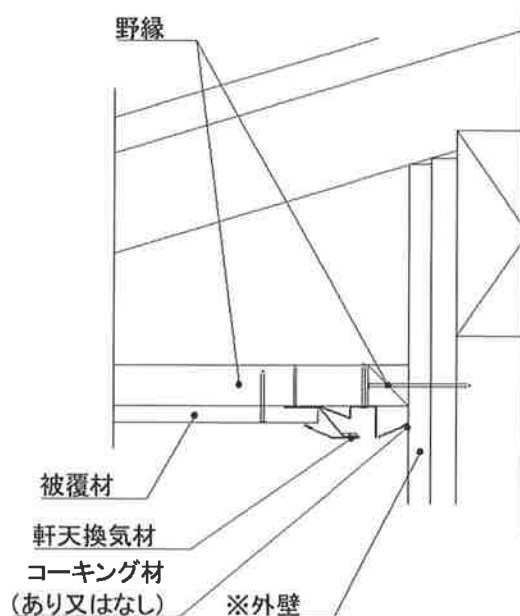
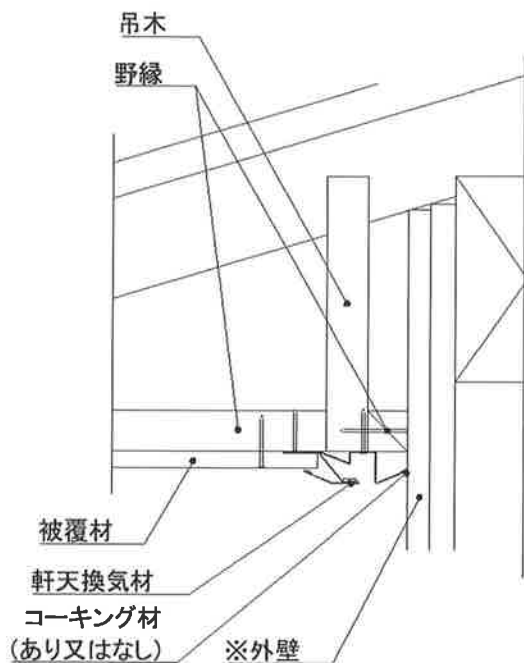
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

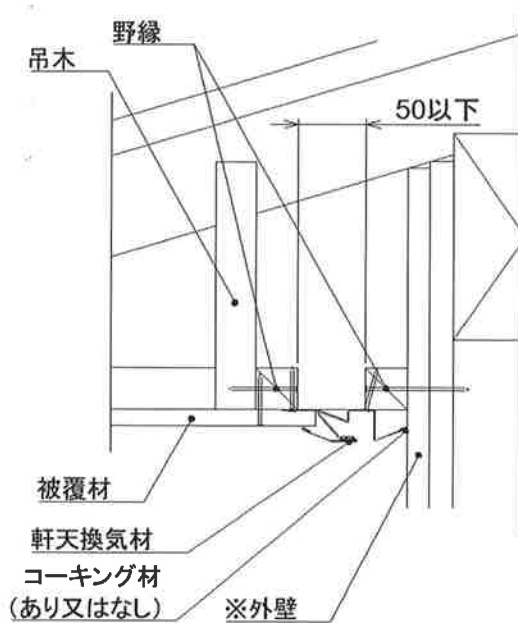
<断面図> (水平軒仕様)

外壁と野縁との取り合い (軒天換気材の位置が壁際の場合)



軒の幅方向の野縁を
吊木に接合させる場合

軒の幅方向の野縁を
外壁に接合させる場合



軒の幅方向の野縁を2本配置し
吊木と外壁に接合させる場合

図 15 構造説明図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

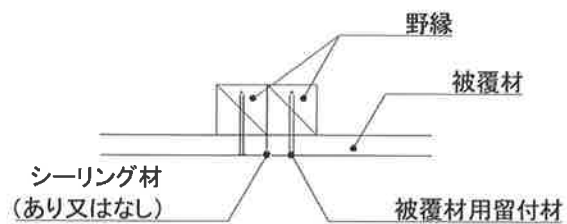
※：本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

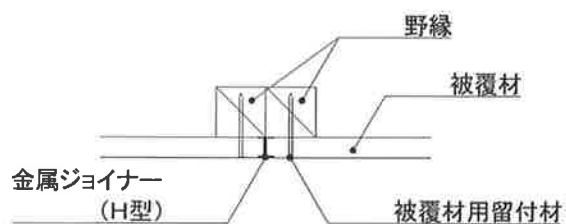
<断面図>

被覆材の目地仕様

i) 面取り突付け、ii) 突付け



v) 金属ジョイナー



iii) 合いじゃくり、iv) 面取り合いじゃくり

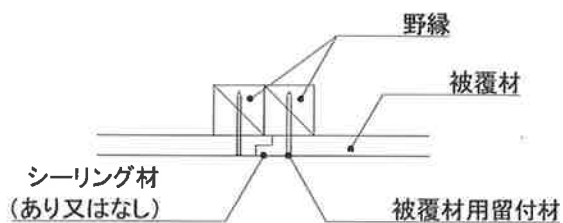


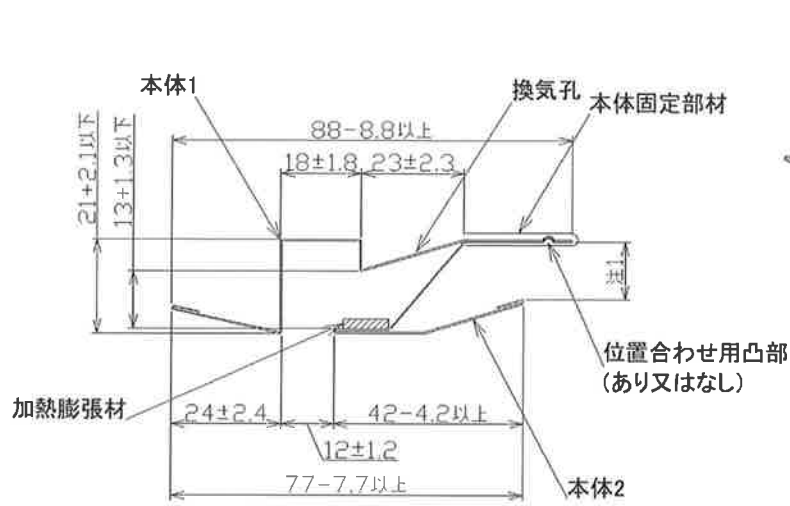
図 16 構造説明図

注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

※：本評価内容に含まない

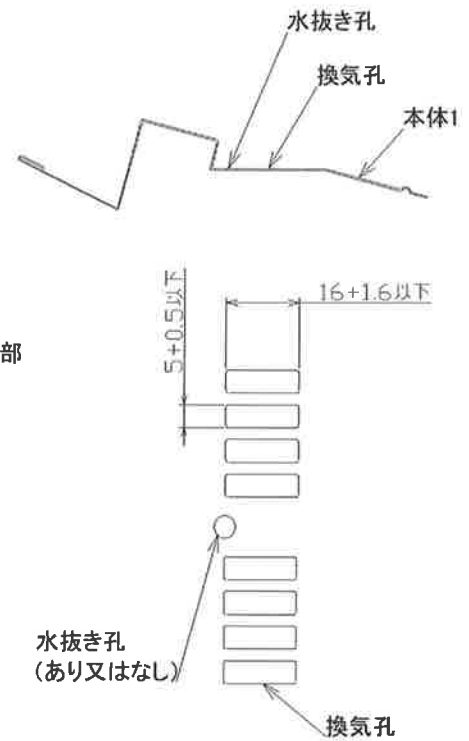
(寸法単位：mm)

<軒天換気材の形状図>



注 1 被覆材厚さ+0.5 (±1)

軒天換気材の形状図



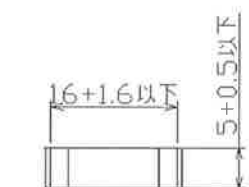
換気孔配置図



イ) 抜き孔形状



ロ) ブリッジ孔形状 (下凸)



ハ) ブリッジ孔形状 (上凸)

換気孔の形状図 [イ) ~ハ)]

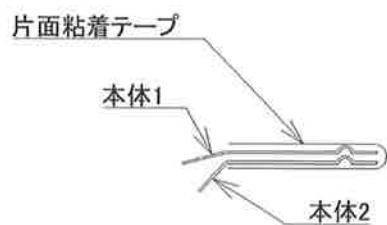
図 17 構造説明図

注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

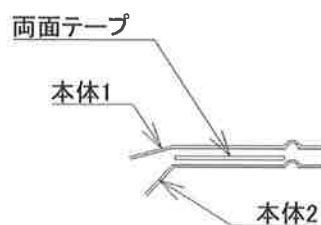
※：本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

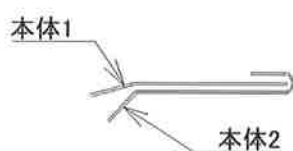
＜軒天換気材の形状図＞



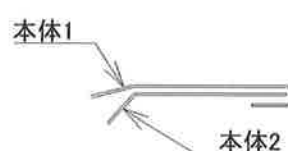
a) 本体固定部材片面テープ



b) 本体固定部材両面テープ



c) カシメ (1)



d) カシメ (2)

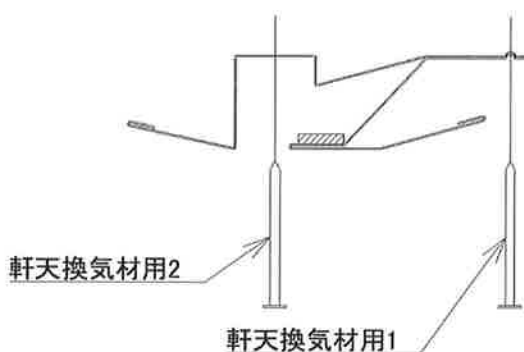


e) 鋼板非分割

本体 1 と本体 2 の固定方法〔a)～e)〕



ジョイントカバーの一例



軒天換気材留付図

図 18 構造説明図

注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

※：本評価内容に含まない

5. 施工方法等

<施工図>

4. 構造説明図と同じ

<施工手順>

1) 下地材の取付け

- ・下地材はたるきに固定する。

2) 野縁の取付け

- ・野縁は下地材、たるき、吊木、外壁等に固定する。外壁等に固定する場合はくぎ、ねじで十分な留付けができる箇所とする。
- ・軒の出が 500 mmを超える場合は軒の幅方向の野縁（下地材を含む）の間隔が 500 mm以下となるように配置するとともに吊木にて補強する。野縁を直接たるきに取り付ける場合は吊木を省略することができる。

3) 軒天換気材の取付け

- ・軒天換気材は野縁、下地材等に固定する。
- ・軒天換気材を連続して使用する場合は必要に応じてジョイントカバーを使用する。
- ・軒天換気材と外壁との取り合い部は必要に応じてコーキング材等で納める。
- ・必要に応じて仕上げ塗装を行う。

4) 被覆材の取付け

- ・被覆材は、軒天換気材との取り合い部は差し込み、その他は野縁、下地材等に固定する。
- ・被覆材と外壁との取り合い部や目地は必要に応じてコーキング材等で納める。
- ・必要に応じて仕上げ塗装を行う。